

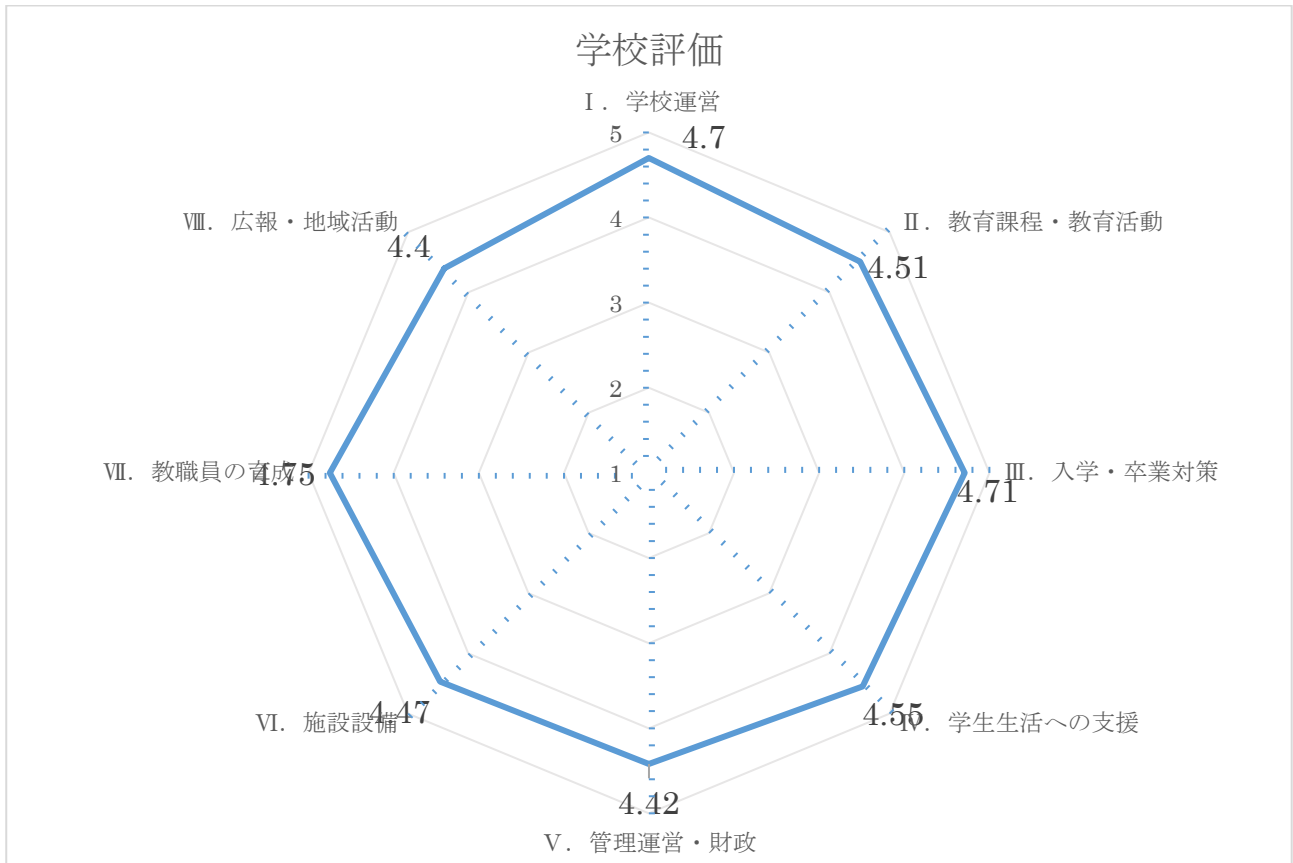
春日部市立看護専門学校の学校運営評価

本校では、教育機関としての機能の維持・向上を目的とし、学生から信頼され魅力ある学校づくりにつなげることを目標に、教職員による「学校評価」、学生による「授業(講義・実習)評価」、教員による「授業(講義・実習)評価」、「学生満足度調査(卒業時)」、「保護者満足度調査」を実施しております。今回は、令和5年度の結果を報告いたします。

令和5年度 学校運営評価について

1) 学校評価 ; 8 領域(42 項目) 5 段階評価

各領域ごとの細項目			
I. 学校経営	目標(運営目標・組織目標の策定)	IV. 学生生活への支援	進路相談の実施
	目標(運営目標・組織目標の評価)		学業継続のための支援体制
	評価内容の公表		学生の身体的側面の健康確保
	会議の開催と組織の機能		教科外活動の支援
II. 教育課程・教育活動	教育理念・目標の設定と分析	V. 管理運営 財政	計画的な予算の計画・執行・管理
	教育課程の評価		個人情報保護
	授業計画・評価の実施		危機管理体制
	時間割の妥当性		学生意見の反映
	指導方法・内容の妥当性	VI. 施設設備	施設・設備の安全・安心確保
	授業(講義・実習)評価の実施		設備・教材の整備
	実習環境・指導体制の妥当性		学生のための施設・設備の提供
	実習指導者と教員の協力		図書室の整備
	単位認定の公平性・妥当性		実習室・備品の整備
	実習時の倫理的配慮		VII. 教職員の育成
インシデントの把握・分析	学会・研修参加の成果の還元		
学生・教員自己評価の考察	臨床研修の実施		
受験生確保への取り組み	研究等の実施		
III. 入学・卒業対策	看護師国家試験対策の実施	VIII. 広報・地域活動	他教員の授業参観・リフレクション
	学生相談の実施		専門領域の能力向上
	卒業後の状況把握と支援		広報活動の実施
	地域への就職率の向上		地域活動・地域貢献



《考察》

例年通り、8領域(42項目)を5段階の評価基準で評価しました。その結果、全体平均は4.56で8領域すべて4.0以上と全体的にバランスは整っているといえます。昨年度、8領域中、最も低い数値であった《VIII. 広報・地域活動》では、ホームページの定期的更新およびホーム画面一部変更、春日部市 SNS への学校行事の紹介、選択科目「郷土体験学習」(郷土資料館見学・麦わら帽子工場見学)、埼玉県東部地域メディカルコントロール協議会外傷セミナー会場協力、大凧マラソンボランティア(2年生・教員)、放課後児童クラブ指導員研修(上沖放課後児童クラブ)、春日部ララガーデンイベント「はじめてのお仕事体験」ボランティア(教員・学生)など、感染予防策を講じながら、学校として出来る限りの活動を実施してきました。今後も、地域に根ざした学校運営を目指していきたいと考えております。

2) 学生による授業(講義・実習)評価

1) 授業(講義)の学生評価；15項目 5段階評価

(1)学生の講義への取り組み(4項目)

(3)講義内容(3項目)

(2)講義の進め方(7項目)

(4)学生の達成度(1項目)

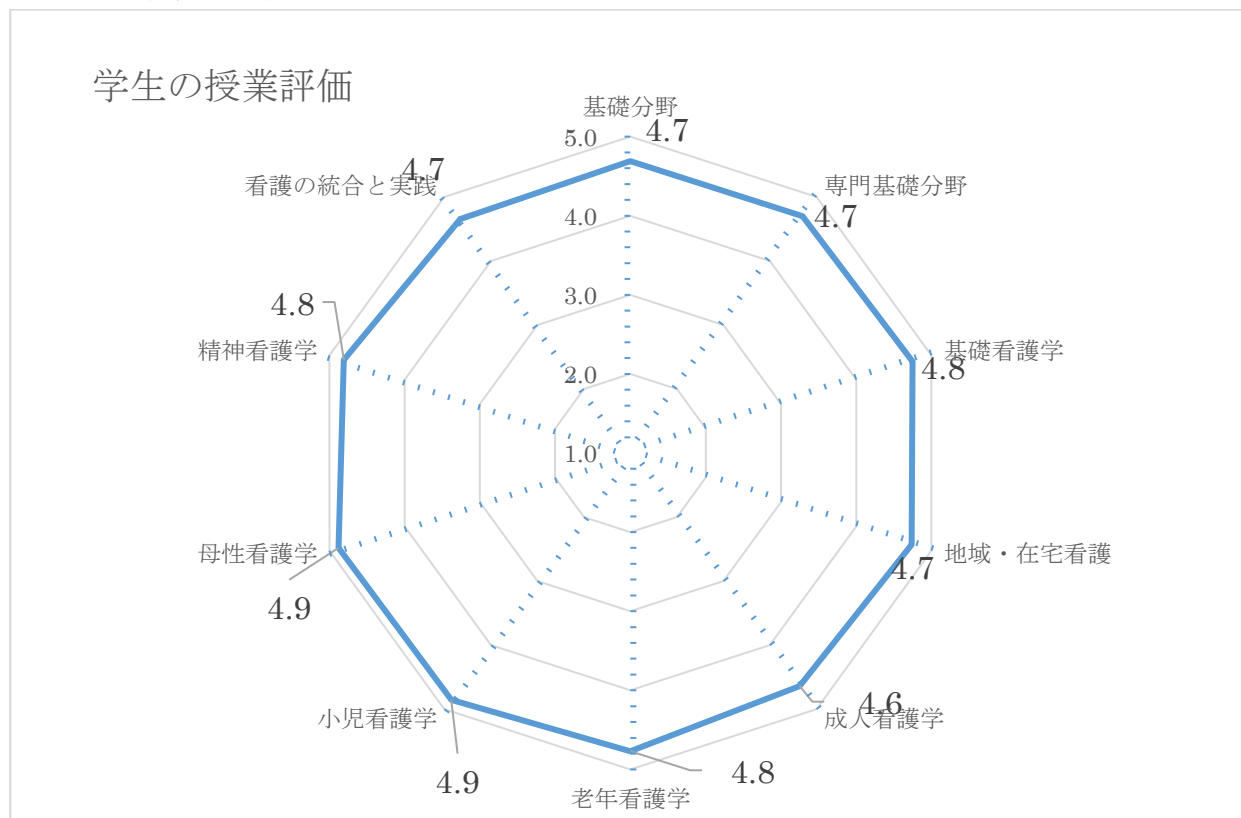
2) 授業(実習)の学生評価；10項目 5段階評価

(1)学生の実習への取り組み(3項目)

(3)教員・指導者の関わりおよび環境(3項目)

(2)実習内容・方法(2項目)

(4)学生の達成度(2項目)



《考察》

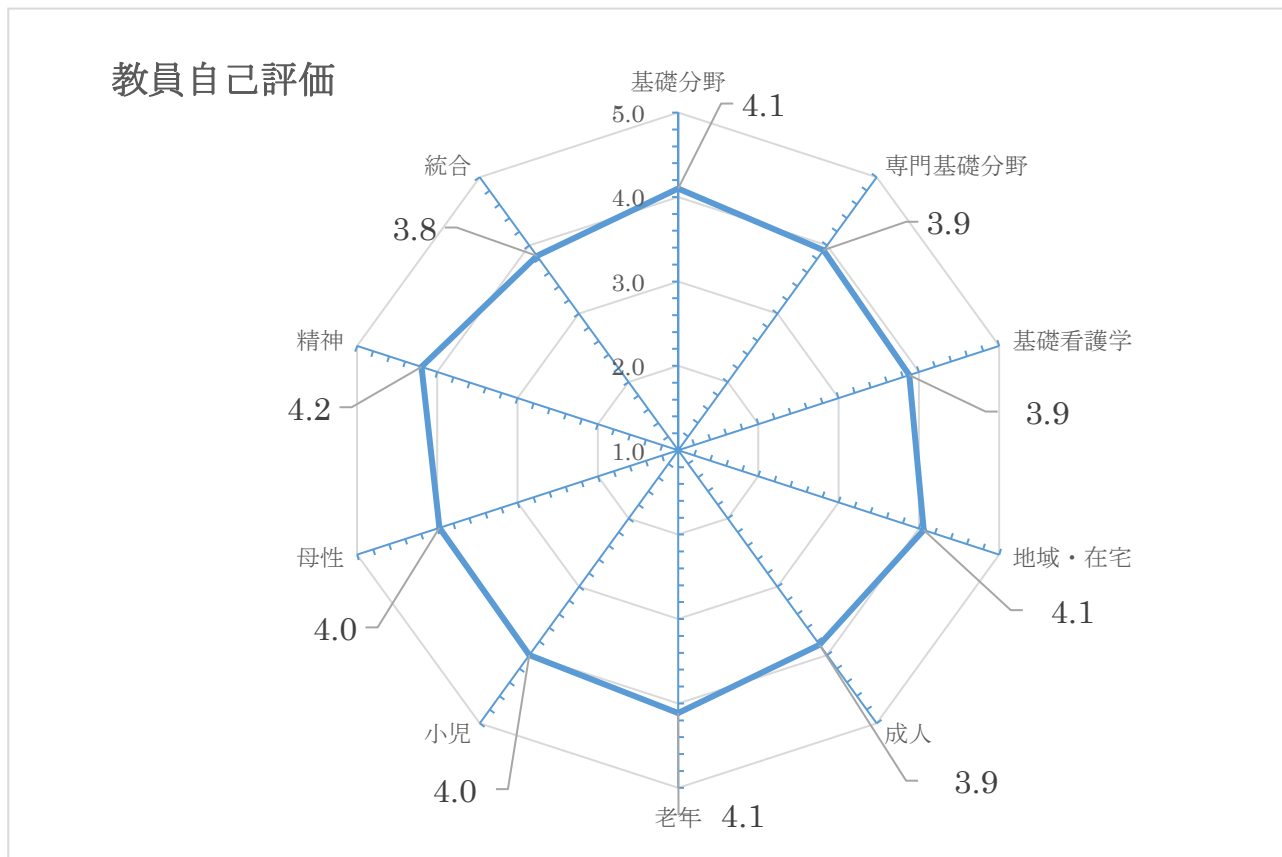
授業(講義)の学生評価については、従来の評価表を用いて、外部講師には授業評価の実施について

承諾をとり、基礎科目から統合分野まで、すべての授業(講義)において評価をいたしました。また授業(実習)の学生評価については、各実習終了後、学生に評価表を配布・回収し、副学校長・教務主任・実習調整者にて改善点を協議後、教務会議にて共通認識を図りました。

カリキュラム改正により1・2年生のカリキュラムは新カリキュラムとなり、科目の枠組みが変更されたため、今年度から専門分野における評価は、講義・実習を含む評価とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野(各看護学)の全10項目で表すことに変更しました。結果は、すべての項目において4.5以上と大きな偏りはありません。今後も、学生が興味関心を持ち、主体的に講義・実習に臨めるような教育活動ができるよう努めていきたいと考えております。

3) 教員による授業(講義・実習)自己評価

- 1) 授業(講義)の教員自己評価；20項目 5段階評価
(1)講義準備(8項目) (2)講義の実施(10項目) (3)教員の満足度(2項目)
- 2) 授業(実習)の教員自己評価；10項目 5段階評価
(1)実習指導準備(3項目) (2)指導内容・方法(4項目) (3)実習調整・連携(2項目)
(4)教員の満足度(1項目)



《考察》

教員による授業(講義・実習)の自己評価については、専任教員が担当する全科目において評価を実施しました。学生による授業(講義・実習)評価と同様に、カリキュラム改正により1・2年生のカリキュラムは新カリキュラムとなり、科目の枠組みが変更されたため、今年度から専門分野における評価は、講義・実習を含む評価とし、基礎分野・専門基礎分野・専門分野(各看護学)の全10項目で表すことに変更しました。

結果は、すべて項目において4.0程度と大きな偏りはありません。授業計画・評価については、講義・実習とも、教務会議にて意見交換を実施し、教員間の共通認識を図りました。学生による授業(講義・実習)評価に比べ低値となっている項目もありますが、今後も、教員自身が客観的に自己の教育活動を振り返る姿勢を忘れず、真摯に教育活動を実践し、次年度の課題を明らかにしていきたいと考えております。

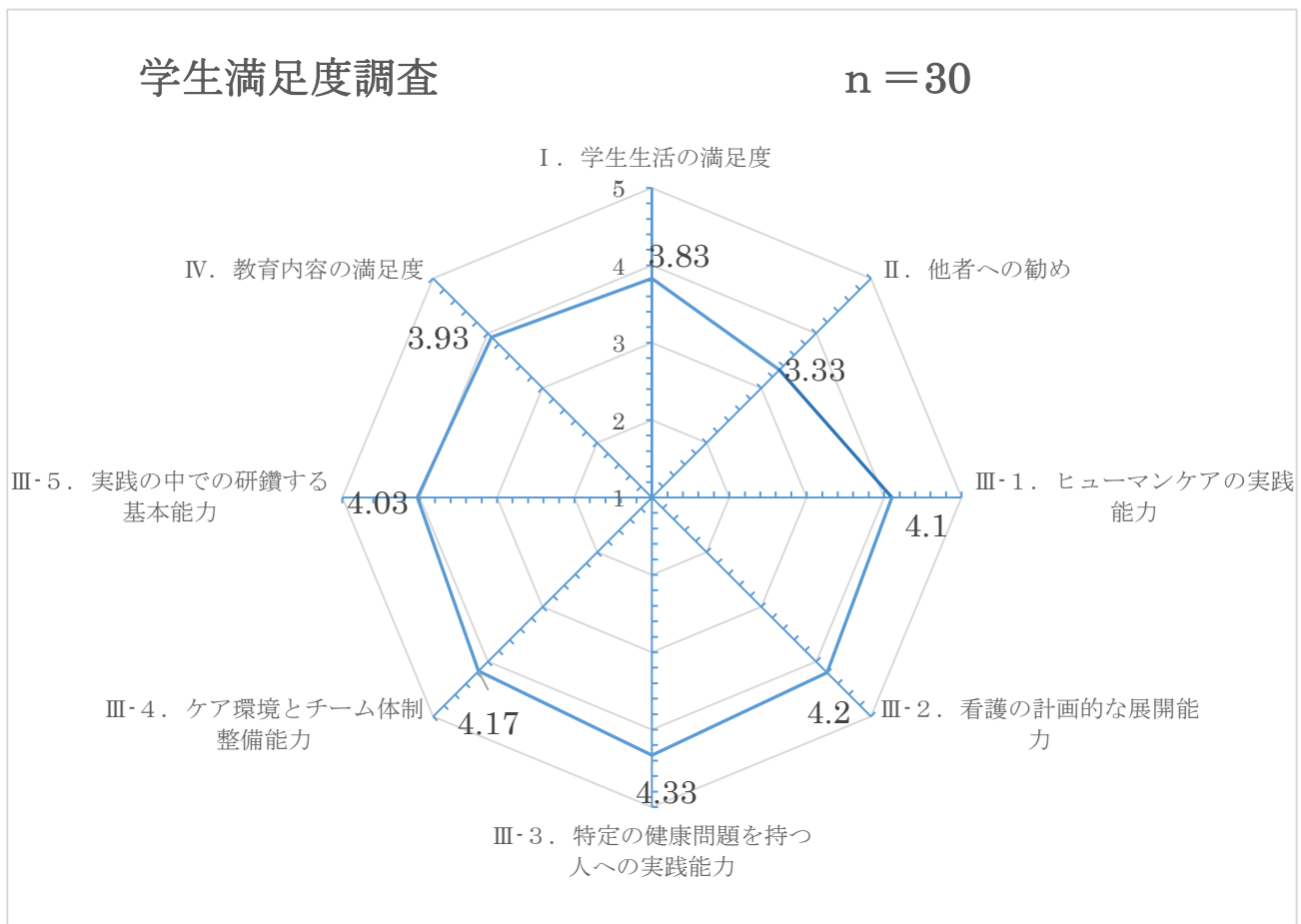
4) 学生満足度調査(卒業時) ; 15 項目 5 段階評価

(1) 学校生活の満足度(1 項目)

(2) 他者への勧め(1 項目)

(3) 卒業時に身につけてほしい能力(5 項目)

(4) 教育内容の満足度(8 項目)



《考察》

3 年生(18 期生)の卒業直前に、学生満足度の調査を実施しました。回収率は 100% でした。本校での学生生活の満足度は 3.83、教育内容の満足度は 3.93 でした。3 年生(18 期生)は、コロナ禍での入学となり、講義・教科外活動において、学生自身が思い描くような学校生活とはならず、低値になったと考えます。本校の他者への勧めは 3.33 でした。学生の意見にもあるように、施設・設備の問題が大きいのではないかと考えます。今後も、学生の学習環境を整えていきたいと考えております。

自由記載には「学生に寄り添って指導していただき、学習環境が充実していた」「教職員が皆、学生を気にかけて、声をかけてくれることで、いつも救われた」などの記載もあり、今後も、本校の特徴・強みである、きめ細やかな教育活動を継続・実践していきたいと考えております。

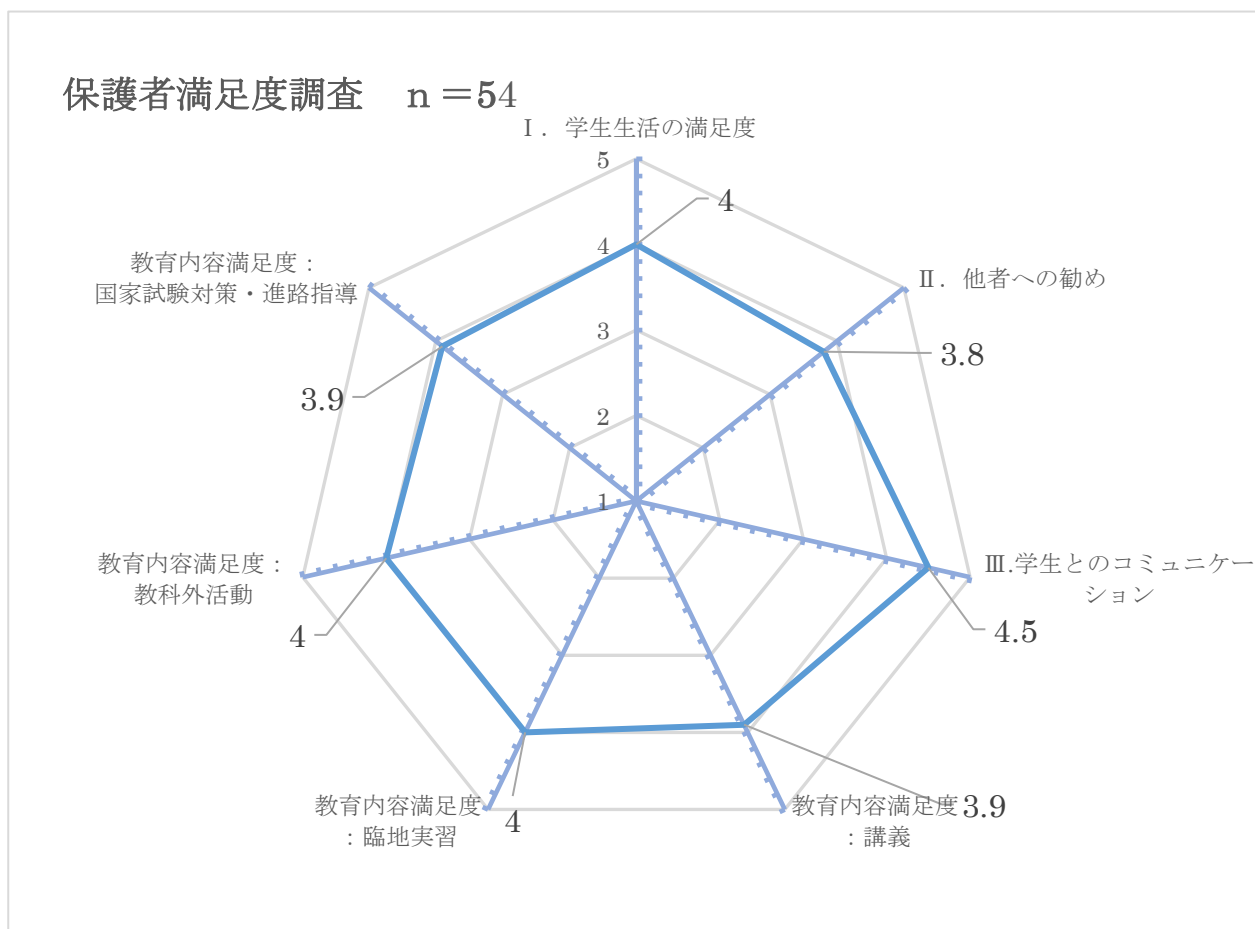
5) 保護者満足度調査 ; 7 項目 5 段階評価

(1) 学校生活の満足度(1 項目)

(2) 他者への勧め(1 項目)

(3) 学生とのコミュニケーション(1 項目)

(4) 教育内容の満足度(4 項目)



《考察》

調査表は学生経由で保護者にお渡しし、封書厳封の上、再び学生経由で回収させていただきました。回収率は 91.5% でした。保護者の《学生生活の満足度》4.0、《教育内容の満足度》4 項目(講義・臨地実習・教科外活動・国家試験および進路指導)の平均 3.95 でした。

最後の自由記載欄には、「日々、頼もしくなっていく姿を見て、一人の人間として自立していったと感じています」「教員との関わりの中で心温まる出来事もあると聞いています」「現在の環境下において最大限努力されていると思います」などの意見が寄せられました。しかし、施設・教材教具の充実や教育方法(教員の指導方法や、技術教育・レポート提出など)についての意見もありました。今後も、保護者のご意見や満足度を教職員間で共有しながら、学校運営に役立てていきたいと考えております。

今後の課題

本校の今後の課題は、①新カリキュラム運用の評価および課題の整理、②学生の社会人基礎力の育成、③施設の老朽化に対する関係機関との連携があげられます。具体的には、カリキュラム評価を実施し、教職員で改正後の課題を明らかにする、学生の主体性・個別性を重視した教育活動を実践し定期面接におけるブラッシュアップシートの活用・評価を実施する、春日部市公共施設事業調整課との連携による継続した検討などがあげられます。

学校評価については、「学校教育法」にて専修学校および各種学校の準用が規定されており、「専修学校における学校評価ガイドライン」において、自己点検・自己評価およびその結果公表について、平成 14 年に義務化されました。学校関係者評価については努力義務ですが、高等教育無償化による機関要件においては必須事項となるため、継続していきたいと考えています。

今後も、学校運営評価の考察から、組織的・継続的な改善方策の策定や実施に努めていきたいと考えております。